

総務経済委員会所管事務調査(令和 6 年5月 16 日)

小長谷順二

1. 牧之郷駅周辺整備

平成 27 年から、牧之郷地域づくり協議会と伊豆市が地元の意見を基に「牧之郷まちづくり構想」をまとめ、平成 31 年 3 月に都市計画法に基づく「牧之郷地区計画」を決定し、牧之郷駅周辺整備の総事業費4億 4 千万円をかけ、本年3月 14 日に完成した。

駅の利便性の向上、憩いや交流の場が創出したので、地域住民の居場所と賑わいそして若者世帯の移住や定住に繋がる取り組みを引き続きお願いしたい。

2. 萬城の滝(駐車場・展望台)

駐車場整備工事は当初予算 4,268 万円。291 万 5,000 円を減額し、3,976 万 5,000 円で静岡県の観光地域づくり整備補助金 1/2 を活用し 4 月 17 日に完成した。普通車 35 台、大型車 5 台の駐車場で観光客の受け入れ態勢が整ったので萬城の滝に多くの観光客で賑わう事に期待します。

萬城の滝デッキ整備工事は当初契約金額 5,060 万円。静岡県の観光地域づくり整備費補助金 1/2 を活用し 5 月 31 日完成予定。デッキは右岸と左岸にあり、しびきがかかるほどすぐそばで滝を見ることが出来、迫力を間近で感じる事が出来るようになりました。

5 月 26 日には第 35 回萬城の滝祭りが行われた。ワサビの郷のこの地区はオーバーツーリズムにならないような地元のワサビ生産者との連携も図りながら萬城の滝キャンプ場と共に個性的な自然豊かな観光地としての魅力を発信していただきたい。

3. 旧八岳小学校

伊豆市公共施設再配置基本方針に基づき、旧八岳小学校の校舎、体育館、プールを令和 7 年に解体することになった。コンピューター棟は平成 11 年に建築した比較的新しい建物の為、階段を増設し、トイレ・空調の改修を行い地区のコミュニティ施設や避難所として活用する事となった。

解体後の広場は自衛隊のヘリコプターが離発着可能な広さとなり、災害時の物資輸送や住民避難に有効なスペースが確保出来るようになる。

八岳地域づくり協議会と更なる連携を図り、地域の賑わいの創出に寄与する居

場所になっていただきたい。

4. 水道施設(冷川浄水場)

中伊豆地区の冷川系統は 1 日の最大取水量は 2,880 m³/日。最大排水量は 2,620 m³/日で水源の種別は表流水で、浄水方法は滅菌処理(次亜塩素)。排水方式は自然流下方式となっている。

表流水より取水し、冷川浄水場内薬品沈殿他、急速ろ過池を経て滅菌処理は導水管路に直接流入し浄水し、冷川配水池より新八幡配水池と大幡野ポンプを経て大幡野配水池及び徳永ポンプ場へ送水している。

安全な上水を配水するには施設と管理、そして職員の並々ならぬ努力がある事を改めて確認できた。

5. 橘保育園跡地

当初予算に、旧橘保育園跡地活用事業費として4000万円を計上した跡地の活用について、市の方針に沿って全体面積 5445.90 m²の民間事業者から住宅地としての提案があり、今後進めて行く方針。若者世帯の新たな移住定住先としてこの跡地が 1 日も早く活用される事を望む。

6. 修善寺虹の郷(指定管理状況)

修善寺虹の郷は令和元年度よりシダックス大新東ヒューマンサービス(株)が指定管理者として管理運営を行っている。

事業の概要は料金徴収、園内交通管理、花卉・植栽管理・広告宣伝、店舗営業等で主な自主事業は GW イベント、ウオーターパーク、ハロイン仮装パーティー、伊豆総合高校生徒企画作品展、紅葉ライトアップ、打ち上げ花火・スカイランタン・サンクスイルミクリスマスナイト打ち上げ花火、バレンタイン・ホワイトデーイベント等年間を通じて行っている。

令和 5 年度の入園者数は 151,012 人で収支決算は▲1,353 万円となっている。園内はきれいに管理されているが広大な敷地の管理には多くの課題がある。

5 月 24 日の全員協議会で修善寺虹の郷の公募型サウンディングの調査結果について説明があったが、5 社のうち主体的な運営意向のある事業者は 3 社で民営化を前提とした条件の指定管理者公募となると応募は難しい等の意見があった。

今後の活用には多くの課題が残る施設であることから、運営方法について更なる調査研究が必要。